

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 18 日現在

機関番号：12611

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24320116

研究課題名(和文) 社会的上下感覚の生成・持続・変容に関する比較史

研究課題名(英文) Comparative History of the Formation, Continuance, and Transformation of the Sense of Social Status

研究代表者

岸本 美緒 (KISHIMOTO, Mio)

お茶の水女子大学・基幹研究院・教授

研究者番号：80126135

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,800,000円

研究成果の概要(和文)：日本史(古代、中世、近世、近代)、アジア史(中国史、イスラーム史)、ヨーロッパ史(中世イギリス、近世フランス、近現代ドイツ、近現代東欧)の研究者の共同研究として、社会的上下感覚に関する比較研究を行った。研究の重点は、第一に、社会的上下感覚というキーワードを媒介に、身分・ジェンダー・エスニシティなど、従来別個に論じられる傾向のあった問題を総合的に考察すること、第二に、固定的な一国的類型論を超えた比較史の方法を模索するとともに変動期に着目して前近代史と近現代史を架橋することであった。書札礼、都市空間、社会集団、エスニック・アイデンティティなどのテーマをめぐり、検討を行った。

研究成果の概要(英文)： This joint research was done by historians specialized in various fields(ancient, medieval, early modern and modern history of Japan, China, Islamic world, England, France and central Europe) in order to promote a comparative study on sense of social status. The main purposes of this study were (1) to integrate several perspectives such as gender, ethnicity etc. into a common framework under the keyword of "sense of social status," and (2) to combine premodern history and modern history focusing on the changes in the sense of social status during the ages of transition. Main specific topics discussed in this joint research were manners of writing letters, urban space, social groups, ethnic identity and so on.

研究分野：中国明清史

キーワード：比較史 身分 ジェンダー エスニシティ

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、平成 20 年度～23 年度に受領した科学研究費補助金「身分感覚の比較的研究」(基盤研究(B))において、日本の古代、中世、近世、近代、朝鮮近代、イギリス忠誠、フランス近世、ドイツ近代、イスラーム史などを専門とする研究者と共同研究を行い、従来の身分制度研究において支配的であった法制上の身分制度のみならず、それぞれの社会に生きる人々の認知と行為によって生成する身分的上下関係の動態的かつ比較史的考察を行った。その成果を踏まえ、モデルをより精密化すること、社会の大きな転換期に焦点を当てること、エスニシティやジェンダーを含んだ新たな比較の視点を構築することの必要性が明らかになった。

2. 研究の目的

各地域の事例の並列的な比較にとどまらず、社会的上下感覚に対する総合的な比較的研究を行うための方法と概念を製錬することを目的とした。特に、本研究では、従来の「身分」研究では対象外とされることの多かったエスニシティやジェンダーの問題を視野に入れた総合的な考察を行い、またそれに伴って近現代も含む長期的な視野から社会感覚の変容をとらえることを目指した。

3. 研究の方法

「古代～中世」「中世～近世」「近世～近代」「近代～現代」という、時代をまたぐ4つの部会を設け、部会内において各人の研究成果を共有するとともに、全体の研究会で検討を行い、その結果を各部会にフィードバックする。各人の研究成果は、個別の論文や学会報告において発表するとともに、研究会においては、比較史的な視点を重視した報告を行い、論点を深化させた。外国の研究者や、関連の研究を行っている若手研究者を招いての研究会・シンポジウムも随時開催した。

4. 研究成果

- (1) 古代～中世の部会では、書札礼を一つの焦点として、比較研究を行った。書札礼から古代日唐家族の比較を行った研究(古瀬)のほか、日本中世の書状や儀礼に関して関連研究者に依頼して報告・討論を行い(安田次郎、巽昌子)、イギリスのジェントリの書札礼(新井)や中国の名刺の用法(岸本)も含めて、書札礼が極めて興味深い比較研究の対象となることが確認された。
- (2) 中世～近世の部会では、都市の社会集

団や有力者との関わりで、儀礼やジェンダーの問題を中心に比較研究を行った。中世～近世のイギリスに関して、ロンドンのギルドや入市式に見られる上下感覚(上野未央、佐々井真知)、ジェントリの墓地の問題(新井)を取り上げ、また日本中世の行列(藤原)、日本近世の芝居興業(神田)、イスラーム社会における寄進(三浦)、中国近世における宗族の共有財産(Joe McDermott)、中国の中間団体(岸本)などの問題をめぐって、活発な討論を行い、比較史的な認識を深めた。

ヴィジュアルな史料の使い方や空間的な把握の仕方についても、方法的な論議が深められた。

- (3) 近世～近代に関しては、変動期において従来の身分感覚や都市空間認識がどのような変化を被るのか、という点につき、日本の都市芸能の観点(神田)、明治時代の東京の都市空間(小風)、近代中国における「奴隸」概念の展開(岸本)といった点から比較を行った。
- (4) 近代～現代については、中欧の「国家・民族・身分感覚」をテーマとする小シンポジウムを開催し、ナチズムにおける「ドイツ東方」の概念(山本)、中欧における文明観と歴史認識(篠原)を中心に、主にエスニシティに関わる討論を深めた。近代日本の外国人の地位に関する問題(小風)も、このテーマと関わる重要な課題であった。
- (5) 各部会での討論、全体の研究会や小シンポジウムでの議論をベースに、各人が個別に発表した研究成果は下記のとおりである(学会発表と論文で内容が重なっているものなどは、どちらかに限定し、重複しないようにしてある)。本共同研究全体の成果として、比較史的論文集をまとめる予定であり、現在編集中である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計14件)

藤原重雄、藤原光頼(桂大納言入道)出家後の動向、国際仏教学大学院大学日本研究所紀要、査読無、1号、2016、35-46、

篠原琢、「国民の社会」をどのように把握するか、日本歴史学研究年報、査読無、31号、2015、59-65、

小風秀雅、憲法発布と維新史の成立

ナショナルヒストリーの形成と二人の「朝敵」、歴史学研究、査読無、938号、2015、2 - 15、

岸本美緒、近一百年日本の清代社会史研究——以中間団体論を中心、清史研究(中国人民大学清史研究所)、査読無、2015年2期、2015、27 - 40、

岸本美緒、礼教・契約・生存——試析明清民事審判中の衡平原則、法制史研究(台北)、査読有、27期、2015、33 - 74、

岸本美緒、徳治の構造——寛容の在り処を中心に、中国——社会と文化、査読無、30号、2015、45 - 65、

藤原重雄、春日大社所蔵『徳治三年神木入洛日記(中臣延親記)』、東京大学史料編纂所研究紀要、査読無、25号、2015、62 - 81、

小風秀雅、錦絵「憲法発布上野賑」を読む、歴史と地理(日本史の研究)、査読無、682号、2015、35 - 39、

岸本美緒、關於清代前期定例集の利用、中国古代法律文献研究、8輯、査読無、2014、375 - 397、

岸本美緒、礼教・契約・生存——清代中国の売妻・典妻慣行と道德觀念、歴史学研究、査読無、925号、2014、13 - 23、

神田由築、江戸の子供屋、東京大学日本史学研究室紀要、査読無、別冊、2013、19 - 37、

岸本美緒、清末における奴隷論の構図、お茶の水史学、56巻、査読無、2013、179 - 214、

岸本美緒、清代上海地方人士的国家観、中日学者中国古代史論文集 2012、査読無、2012、407 - 425、

小風秀雅、十九世紀における交通革命と日本の開国・開港、交通史研究、78巻、査読無、19 - 37、2012、

[学会発表](計19件)

古瀬奈津子、遣唐使と東アジアの国際情勢、国立台湾大学日本語文学系講演会、2016年3月30日、国立台湾大学(台北)。

Taku Shinohara, Canonization of

Jewish Memory in Central Europe, The Second TOKYO-BUDAPEST Workshop "The Violence of Memory and the Memory of Violence," 17-18, March 2016, 中央ヨーロッパ大学(ブダペスト)

Taku Shinohara, Jewish Existence and Non-existence in the Memory Politics in Central Europe, Polish-Japan Research Seminar "Europe Seen from Abroad," 5, Feb 2016, 国際文化センター(クラクフ)

Taku Shinohara, Jewish Presence and Non-presence in the Memory Politics of the Czech Republic, 2015 SRC Winter International and SRC 60th Anniversary Symposium, 10-11, DEC 2015, スラブ・ユーラシア研究センター(北海道大学)

藤原重雄、尼浄阿一筆書写大般若経の転読料所と安置空間、説話文学会例会シンポジウム「女院と尼僧の信仰の軌跡」、2015年9月27日、根津美術館。

Toru Miura, Slave Soldiers and Slave Elites in a Comparative Perspective, Cambridge World History of Slavery, 26, Sept 2015, University of Hull, UK.

岸本美緒、明末清初的区域社会与国家、地方文献与区域社会研究工作研讨会、2015年9月15日、国立台湾歴史博物館(台南)

神田由築、江戸の男色と芝居、総合女性史研究会、2015年3月21日、昭和女子大学。

神田由築、文化資源としての芝居小屋——興業という観点から、文化資源学会、2015年3月14日、東京大学。

岸本美緒、鴉片戦争の消息：從江南到日本、厦門大学傅衣凌教授記念講座、2014年9月22日、厦門大学人文学院。

新井由紀夫、キャサリン・ラングレイの遺言書を読む、西欧中世史研究会、2014年8月24日、東北大学。

Toru Miura, What Is Called an Art of Donation?: A Comparative Terminology, International Workshop on Waqf and its Terminology, 23-24, June 2014, Mascara, Algeria.

小風秀雅、自治体史編纂における災害史

の位置づけについて、首都圏形成史 2014 年シンポジウム、2014 年 4 月 5 日、青山学院大学。

Toru Miura, A New Approach to Analyze the Waqf Donation from Transregional and Comparative Viewpoints, The 47th Annual Meeting of Middle East Studies Association of North America, 11, Oct 2013, (USA) New Orleans, Louisiana.

Toru Miura, Profiles of Agricultural Waqf and Milk Properties in Damascus Province in the 16th Century, CNRS=GDR1 Workshop "From Practice to Norm," 6-7, July 2013, TELEMME-MMSH, Aux-en Provence, France.

古瀬奈津子、書札礼からみた日唐家族の比較研究、「中華法系与儒家思想」国際学術研討会、2013 年 3 月 21 日、国立台湾大学

Toru Miura, Waqf Activity of Grass-Roots Level in 16th Century Damasucus, The 46th Annual Meeting of Middle East Studies Association of North America, 17-20, Nov. 2012, (USA) Denver, CO.

Taku Shinohara, Heritage without heir: Jewish heritage in Eastern Europe after the Second World War, First International Conference on Cultural Heritage and Identity Formation, 5-6, Sept., 2012, Islamic Azad Univ. in Shiraz.

Toru Miura, Agricultural Properties of Waqf and Milk Ownership in Damascus Province from the Mamuluk into the Ottoman Period, The 9th International Conference on the History of Bilad al-Sham, 1-5, April, 2012, (Jordan) Univ, of Jordan.

〔図書〕(計 20 件)

古瀬奈津子編、東アジアの礼・儀式と支配構造、吉川弘文館、2016、312。

長谷部美佳他編、篠原琢他、多文化社会読本 多様な世界、多様な日本、東京外国語大学出版会、2016、264(56-76)。

岸本美緒、中国の歴史、筑摩書房、2015、

340。

Toru Miura, *Dynamism in the Urban Society of Damascus: The Salihyya Quarter from the Twelfth to the Twentieth Centuries*, Leiden: Brill, 2015, 347.

藤原重雄他、描かれた行列 武士・異国・祭礼、東京大学出版会、2015、392(299 - 319)。

大津透他編、藤原重雄他、岩波講座日本歴史 別巻 2、岩波書店、2015、299(125-152)。

大津透他編、神田由築他、岩波講座日本歴史 13 巻、2015、321(287-321)。

小風秀雅他、グローバル化のなかの近代日本、有志舎、2015、398(43-72)。

東洋文庫編、三浦徹他、アジア学の宝庫：東洋学の史料と歴史、勉誠出版、2015、324(285-301)。

Toru Miura, et al. eds., *The Vellum Contract Documents in Morocco in the Sixteenth to Nineteenth Centuries, Part I*, Toyo Bunko, 2015, 308(77-98).

小杉泰他編、三浦徹他、イスラーム書物の歴史、名古屋大学出版会、2014、453(300-317)。

三浦徹編、イスラームを学ぶ：史資料と検索法、山川出版社、2013、125。

加須屋誠編、藤原重雄他、仏教美術論集 4、竹林舎、2013、461(114 - 134)。

佐賀朝他編、神田由築他、シリーズ遊郭社会 1、吉川弘文館、2013、67 - 91。

古瀬奈津子編、広開土王碑拓本の新研究、同成社、2013、238。

陳熙遠編、岸本美緒他、覆案の歴史、中央研究院(台北) 2013、731(357 - 393)。

小風秀雅、日本の対外関係 7 近代化する日本、吉川弘文館、2012、380。

岸本美緒、風俗と時代観(明清史論集 1)、研文出版、2012、310。

岸本美緒、地域社会論再考（明清史論集
2） 研文出版、2012、348 .

篠原琢他、ハプスブルグ帝国政治文化史
継承される正当性、昭和堂、2012、
241 .

〔産業財産権〕
出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岸本 美緒 (KISHIMOTO Mio)
お茶の水女子大学・基幹研究院・教授
研究者番号：80126135

(2) 研究分担者

三浦 徹 (MIURA Toru)
お茶の水女子大学・基幹研究院・教授
研究者番号：00199952

山本 秀行 (YAMAMOTO Hideyuki)
お茶の水女子大学・大学院人間文化創成科学
科学研究科・名誉教授
研究者番号：10011347

西澤 奈津子 (古瀬 奈津子)
(NISHIZAWA/FURUSE Natsuko)
お茶の水女子大学・基幹研究院・教授
研究者番号:20164551

篠原 琢 (SHINOHARA Taku)
東京外国語大学・大学院総合国際学研
究院・教授
研究者番号：20251564

新井 由紀夫 (ARAI Yukio)

お茶の水女子大学・基幹研究院・教授
研究者番号：30193056

藤原 重雄 (FUJIWARA Shigeo)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：40313192

安成 英樹 (YASUNARI Hideki)
お茶の水女子大学・基幹研究院・教授
研究者番号：60239770

神田 由築 (KANDA Yutsuki)
お茶の水女子大学・基幹研究院・教授
研究者番号：60320925

小風 秀雅 (KOKAZE Hidemasa)
お茶の水女子大学・基幹研究院・教授
研究者番号：90126053